

参 考 資 料

- 1 計画量一覧
 - (1)総括表
 - (2)内訳表
 - (3)伐採計画
 - (4)造林計画
 - (5)路網計画
- 2 事業箇所図(前期)
- 3 施業仕組み
 - (1)施業仕組みとは
 - (2)施業仕組みの区分
- 4 森林の区分図
 - (1) 水源涵養林並びに水資源保全ゾーンの重複区域
 - (2) 山地災害防止林の区域
 - (3) 生活環境保全林
 - (4) 保健・文化機能等維持林の区域
 - (5) 木材等生産林の区域
- 5 人工林の育林体系図
- 6 主な保全施業林分と特別施業林分の現況
 - (1) 保全施業林分
 - (2) 特別施業林分
- 7 管理及び計画の沿革

1 計画量一覧

(1) 総括表

区		分		単位	次期整備管理計画			摘要	
					計	I 分期	II 分期		
森林整備	造林	更新	人工林	主伐	実面積	(ha)	849	446	403
					(区域面積)		1,420	693	727
			植栽等	実面積	(ha)	918	490	428	
				(区域面積)		1,504	676	828	
			天然林	主伐	実面積	(ha)	0	0	0
					(区域面積)		0	0	0
		植栽等	実面積	(ha)	69	29	40		
			(区域面積)		206	86	120		
		計	主伐	実面積	(ha)	849	446	403	
				(区域面積)		1,420	693	727	
			植栽等	実面積	(ha)	987	519	468	
				(区域面積)		1,710	762	948	
		保育(間伐)	人工林	保育伐等		(ha)	966	535	431
				その他			0	0	0
			天然林	植栽木等、天然木		(ha)	206	86	120
その他					0	0	0		
計		(ha)	1,172	621	551				
路網(開設)		(km)	1.2	1.2	0.0				
木材利用		人工林	(千m3)	363.3	175.8	187.5			
		天然林	(千m3)	0.0	0.0	0.0			
		計	(千m3)	363.3	175.8	187.5			

(2) 内訳表

区	分	単位	総計		I 分期		II 分期		摘要			
			実面積	(区域面積)	実面積	(区域面積)	実面積	(区域面積)				
森林整備	造林	人工林	主伐	(ha)	849	1,420	446	693	403	727		
			植栽(単層林)	(ha)	635	635	401	401	234	234		
			植栽(複層林)	初回	(ha)	202	614	76	233	126	381	
				2回目以降	(ha)	81	255	13	42	68	213	
			刈出し	(ha)	0	0	0	0	0	0		
			かき起し	(ha)	0	0	0	0	0	0		
		計(主伐を除く)	(ha)	918	1,504	490	676	428	828			
		天然林	主伐	(ha)	0	0	0	0	0	0		
			植栽(複層林)	初回	(ha)	0	0	0	0	0	0	
				2回目以降	(ha)	69	206	29	86	40	120	
			刈出し	(ha)	0	0	0	0	0	0		
			かき起し	(ha)	0	0	0	0	0	0		
	計(主伐含む)		(ha)	69	206	29	86	40	120			
	間伐	人工林	保育伐	未搬出	(ha)	0	0	0	0	0	0	
				搬出	(ha)	9	9	9	9	0	0	
				計	(ha)	9	9	9	9	0	0	
			立木販売単独	(ha)	957	957	526	526	431	431		
			その他	(ha)	0	0	0	0	0	0		
			計	(ha)	966	966	535	535	431	431		
		植栽木等	保育伐	未搬出	(ha)	206	206	86	86	120	120	
				搬出	(ha)	0	0	0	0	0	0	
				計	(ha)	206	206	86	86	120	120	
			立木販売単独	(ha)	0	0	0	0	0	0		
			計	(ha)	206	206	86	86	120	120		
			天然林	広葉樹	未搬出	(ha)	0	0	0	0	0	0
		改良			(ha)	0	0	0	0	0	0	
		計			(ha)	0	0	0	0	0	0	
立木販売単独		(ha)		0	0	0	0	0	0			
計		(ha)		0	0	0	0	0	0			
その他		(ha)		0	0	0	0	0	0			
計		(ha)		206	206	86	86	120	120			
立販再掲		(ha)		0	0	0	0	0	0			

区	分	単位	計			I 分期			II 分期			摘要		
			計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹			
木材利用	人工林	主伐	(千m3)	258.1	232.0	26.1	124.3	117.1	7.2	133.8	114.9	18.9		
		間伐	(千m3)	105.2	91.6	13.6	51.5	49.7	1.8	53.7	41.9	11.8		
		その他	(千m3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		計	(千m3)	363.3	323.6	39.7	175.8	166.8	9.0	187.5	156.8	30.7		
	天然林	間伐	植栽木等	(千m3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			天然木	(千m3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		その他	(千m3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		計	(千m3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		計	(千m3)	363.3	323.6	39.7	175.8	166.8	9.0	187.5	156.8	30.7		

区	分	単位	計	I 分期		II 分期		摘要		
				計	針葉樹	計	針葉樹			
森林整備	路	開設	林道	(km)	0.0	0.0	0.0			
			林業専用道	(km)	1.2	1.2	0.0			
			施業道	(km)	0.0	0.0	0.0			
			森林作業道	(km)	0.0	0.0	0.0			
			計	(km)	1.2	1.2	0.0			
	網	改良	林道	橋梁	(箇所)	0	0	0		
				局部保全	(箇所)	0	0	0		
				法面保全	(箇所)	0	0	0		
				安全対策	(箇所)	0	0	0		
				計	(箇所)	0	0	0		

(3) 伐採計画

単位 面積:ha、材積:千m3

区分		面積						材積												
		計		I 分期		II 分期		計			I 分期			II 分期						
		実面積	(区域面積)	実面積	(区域面積)	実面積	(区域面積)	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹				
人工林	主伐	単層林施業		574	(574)	327	(327)	247	(247)	174.9	157.7	17.2	92.9	87.3	5.6	82.0	70.4	11.6		
		複層林施業		275	(846)	119	(366)	156	(480)	83.2	74.3	8.9	31.4	29.8	1.6	51.8	44.5	7.3		
		合計		849	(1,420)	446	(693)	403	(727)	258.1	232.0	26.1	124.3	117.1	7.2	133.8	114.9	18.9		
	間伐	道有林野事業	保育伐	未搬出	0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0			
				搬出	9	(9)	9	(9)		(0)	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0			0.0		
			小計		9	(9)	9	(9)	0	(0)	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			立木販売単独		957	(957)	526	(526)	431	(431)	104.2	90.6	13.6	50.5	48.7	1.8	53.7	41.9	11.8	
			道有林野事業計		966	(966)	535	(535)	431	(431)	105.2	91.6	13.6	51.5	49.7	1.8	53.7	41.9	11.8	
		治山事業	本数調整伐	未搬出	0	(0)		(0)		0.0	0.0	0.0	0.0				0.0			
				搬出	0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0		
			治山事業計		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		合計		966	(966)	535	(535)	431	(431)	105.2	91.6	13.6	51.5	49.7	1.8	53.7	41.9	11.8		
		その他		0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0			
	合計		1,815	(2,386)	981	(1,228)	834	(1,158)	363.3	323.6	39.7	175.8	166.8	9.0	187.5	156.8	30.7			
	天然林	主伐	複層林施業		0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0			
合計			0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0					
間伐		植栽木等	道有林野事業	保育伐	未搬出	0	(0)		(0)		0.0	0.0	0.0	0.0			0.0			
					搬出	0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
			小計		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			立木販売単独		0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0			
			道有林野事業計		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		治山事業	本数調整伐	未搬出	206	(206)	86	(86)	120	(120)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0			
				搬出	0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0			
			治山事業計		206	(206)	86	(86)	120	(120)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		合計		206	(206)	86	(86)	120	(120)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		天然木	広葉樹	林改良	未搬出	0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
搬出					0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0			
小計			0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
立木販売単独			0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0					
合計			0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
合計		206	(206)	86	(86)	120	(120)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
その他		0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0					
合計		206	(206)	86	(86)	120	(120)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
総計		2,021	(2,592)	1,067	(1,314)	954	(1,278)	363.3	323.6	39.7	175.8	166.8	9.0	187.5	156.8	30.7				

(4) 造林計画

ア 造林面積

単位 面積:ha

区	分	造林面積								
		計		I 分期		II 分期				
		実面積	(区域面積)	実面積	(区域面積)	実面積	(区域面積)			
道有林野事業	人工造林	植栽	単層林	611	(611)	377	(377)	234	(234)	
			複層林	初回	202	(614)	76	(233)	126	(381)
				2回目以降	81	(255)	13	(42)	68	(213)
			小計	894	(1,480)	466	(652)	428	(828)	
	刈出し等	刈出し	0	(0)						
		かき起し	0	(0)						
		小計	0	(0)	0	(0)	0	(0)		
		計	894	(1,480)	466	(652)	428	(828)		
	改良	天然林	植栽	初回	0	(0)				
				2回目以降	0	(0)				
			小計	0	(0)	0	(0)	0	(0)	
			刈出し等	刈出し	0	(0)				
	かき起し	0	(0)							
	小計	0	(0)	0	(0)	0	(0)			
計	0	(0)	0	(0)	0	(0)				
合計	894	(1,480)	466	(652)	428	(828)				
治山事業	人工造林	植栽	単層林	24	(24)	24	(24)	0	(0)	
			複層林	初回	0	(0)				
				2回目以降	0	(0)				
			小計	24	(24)	24	(24)	0	(0)	
	刈出し等	刈出し	0	(0)						
		かき起し	0	(0)						
		小計	0	(0)	0	(0)	0	(0)		
		計	24	(24)	24	(24)	0	(0)		
	天然林	植栽	初回	0	(0)					
			2回目以降	69	(206)	29	(86)	40	(120)	
		小計	69	(206)	29	(86)	40	(120)		
		刈出し等	刈出し	0	(0)					
	かき起し	0	(0)							
	小計	0	(0)	0	(0)	0	(0)			
計	69	(206)	29	(86)	40	(120)				
合計	93	(230)	53	(110)	40	(120)				
合計	人工造林	植栽	単層林	635	(635)	401	(401)	234	(234)	
			複層林	初回	202	(614)	76	(233)	126	(381)
				2回目以降	81	(255)	13	(42)	68	(213)
			小計	918	(1,504)	490	(676)	428	(828)	
	刈出し等	刈出し	0	(0)	0	(0)	0	(0)		
		かき起し	0	(0)	0	(0)	0	(0)		
		小計	0	(0)	0	(0)	0	(0)		
		計	918	(1,504)	490	(676)	428	(828)		
	天然林	植栽	初回	0	(0)	0	(0)	0	(0)	
			2回目以降	69	(206)	29	(86)	40	(120)	
		小計	69	(206)	29	(86)	40	(120)		
		刈出し等	刈出し	0	(0)	0	(0)	0	(0)	
	かき起し	0	(0)	0	(0)	0	(0)			
	小計	0	(0)	0	(0)	0	(0)			
計	69	(206)	29	(86)	40	(120)				
総計	987	(1,710)	519	(762)	468	(948)				

イ 植栽樹種別造林計画(I 分期のみ)

単位 本数:千本

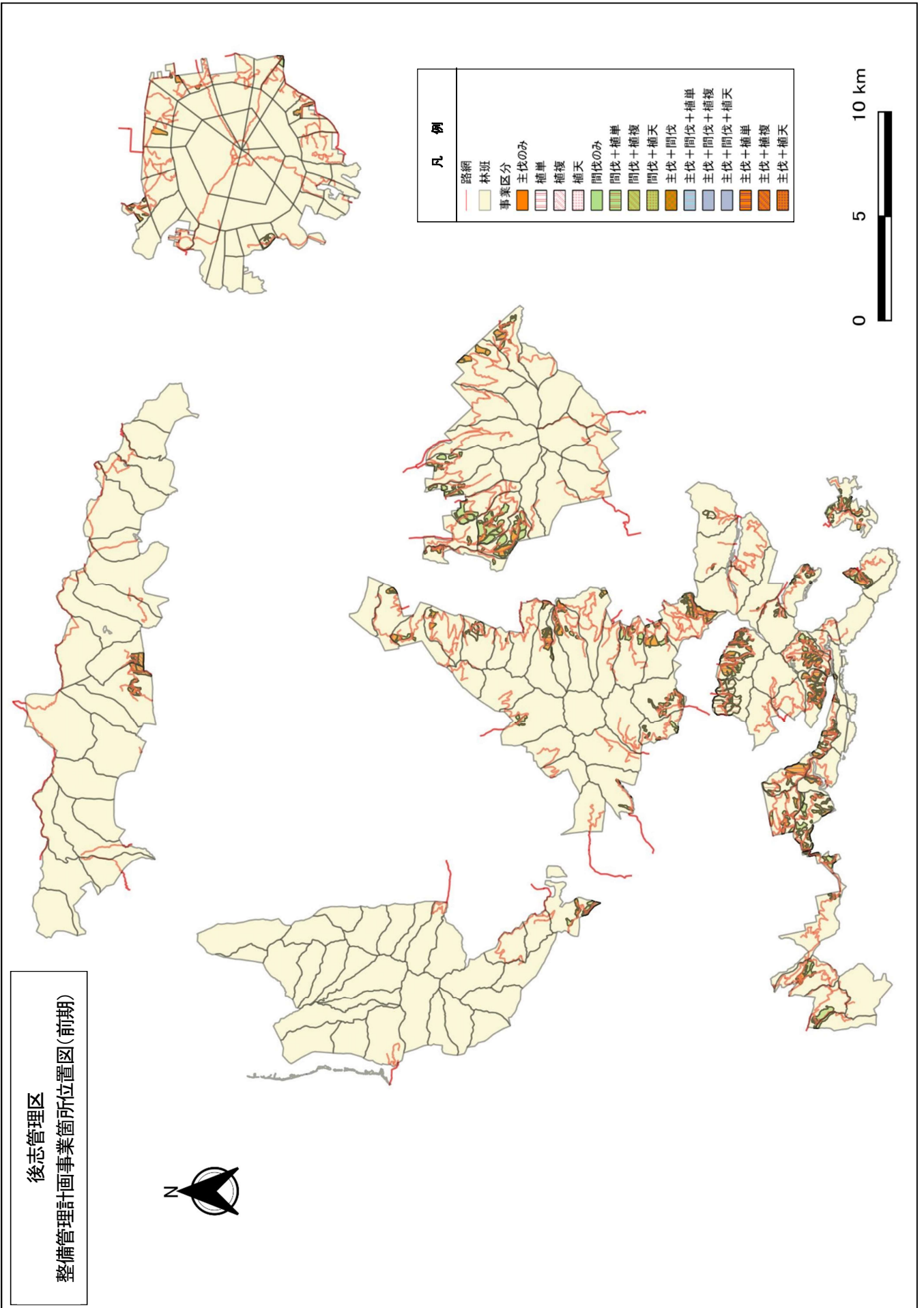
		全体					
		本数		単層林		複層林	
		本数	うちコンテナ苗	本数	うちコンテナ苗	本数	うちコンテナ苗
道有林野事業	トマツ	844	0	632	0	212	0
	カラマツ	275	0	275	0		
	グイマツ雑種F1	0	0				
	その他	0	0				
	小計	1,119	0	907	0	212	0
治山事業	トマツ	0	0				
	カラマツ	0	0				
	グイマツ雑種F1	0	0				
	その他	130	0	61	0	69	0
小計	130	0	61	0	69	0	
合計	トマツ	844	0	632	0	212	0
	カラマツ	275	0	275	0	0	0
	グイマツ雑種F1	0	0	0	0	0	0
	その他	130	0	61	0	69	0
	合計	1,249	0	968	0	281	0

(5) 路網計画

単位 開設延長:km、改良:箇所、面積:ha

区分	路線名称	全体	延長		関係林班	
			I 分期	II 分期		
開設	林道		0.0			
		小計	0.0	0.0	0.0	※※※※※※
	林業専用道	猿志別線	1.2	1.2		
			0.0			
			0.0			
			0.0			
			0.0			
			0.0			
		小計	1.2	1.2	0.0	※※※※※※
	施業道 新設		0.0			
			0.0			
		小計	0.0	0.0	0.0	※※※※※※
	廃道 新設		0.0			
			0.0			
		小計	0.0	0.0	0.0	※※※※※※
	施業道計		0.0	0.0	0.0	※※※※※※
	森林作業道		0.0			
		0.0				
		0.0				
小計		0.0	0.0	0.0	※※※※※※	
開設計		1.2	1.2	0.0	※※※※※※	
改良	林道 橋梁改良		0			
			0			
			0			
			0			
		小計	0	0	0	※※※※※※
	局部保全		0			
			0			
		小計	0	0	0	※※※※※※
	法面保全		0			
			0			
		小計	0	0	0	※※※※※※
	安全対策		0			
			0			
小計		0	0	0	※※※※※※	
林道改良計		0	0	0	※※※※※※	

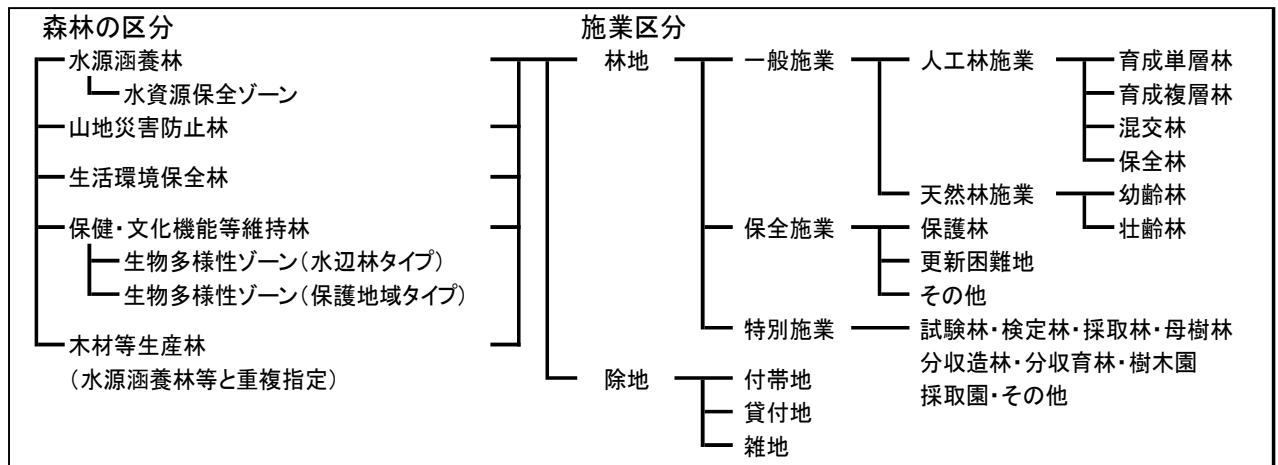
2 事業箇所図 (前期)



3 施業仕組

(1) 施業仕組とは

施業仕組とは、森林の取扱い方法の単位のことです。施業仕組は「森林の区分」と「施業区分」から成り、道有林野の整備管理上、独自に施業方法を森林の区分別に分類したもので、適切で効率的な森林施業を行っていくための基礎となるものです。



(2) 施業仕組の区分

ア 森林の区分

それぞれの森林において、期待する機能に応じた森林の区分を行います。設定に当たっては、市町村と連携して地域の特徴に応じた森林の区分を行うこととし、全域を公益的機能を重視する森林に区分するとともに、人工林がまとまっている区域については、木材等生産林を水源涵養林などの公益的機能別施業森林と重複して設定します。

期待する機能に応じた森林の区分	森林の種類	基本的な取扱い	面積: ha 下段:(割合)	摘要	
水源 ^{かん} 涵養林	水源かん養保安林、干害防備保安林など法令による制限林等	伐採に伴う裸地面積の縮小及び分散を図る施業を推進	27,853ha (65%)	管理区全域をカバー	
	水資源保全ゾーン	水道取水施設の上流に位置する森林等	伐採に伴う裸地面積の縮小及び分散、植栽による機能の早期回復並びに濁水の発生を回避する施業を推進		4,090ha (10%)
山地災害防止林	土砂流出防備保安林、土砂崩壊防備保安林など法令による制限林や林地保全林等	地形等の条件に応じた施業を推進し、土砂の流出・崩壊の防備など災害に強い地域環境を形成	11,206ha (26%)		
生活環境保全林	防風保安林、防霧保安林など法令による制限林や環境緑地保護地区等	風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成を維持し、地域の快適な生活環境を保全	55ha (0%)		
保健・文化機能等維持林	自然公園特別保護地区など法令による制限林、保護林など道有林独自の自然環境を保全する森林等	保健・レクリエーション機能の向上、自然景観・歴史的風致の維持・形成、生物多様性の保全機能の向上等を図る多様な施業を実施	10,256ha (24%)		
	生物多様性ゾーン	水辺林タイプ 生物多様性保全が特に求められる河川沿岸の森林等	原則として自然の推移に委ねる。		0ha (0%)
		保護地域タイプ 生物多様性保全が特に求められる保護林等	原則として自然の推移に委ね、必要に応じて野生生物の生息・生育地の確保に配慮した施業を推進		6,210ha (15%)
木材等生産林	林木の生育に適した森林で路網の整備状況から効率的な施業が可能な森林等	施業の集約化や機械化による効率的な森林整備を推進し、木材等を安定的・効率的に生産	2,302ha (5%)		重複

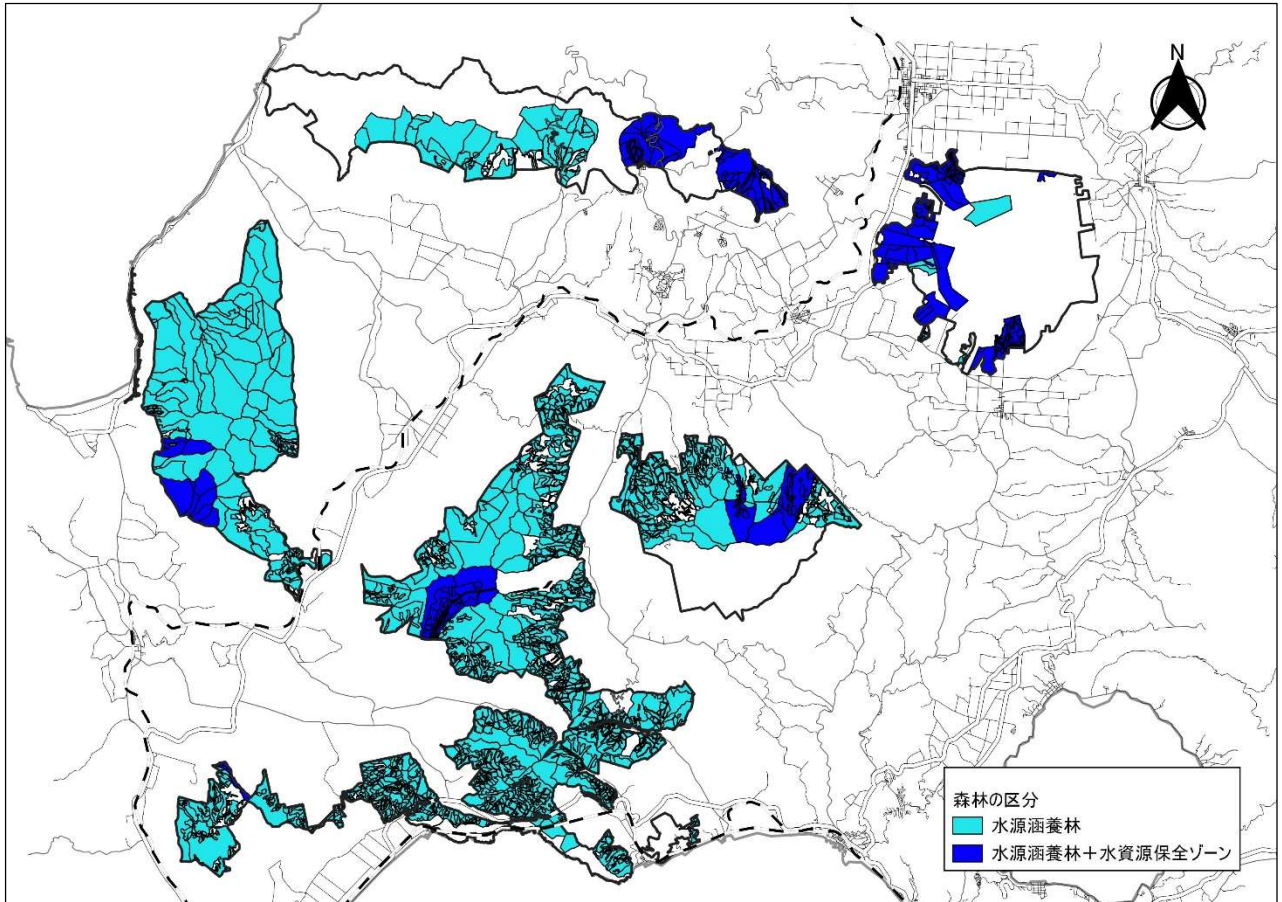
イ 施業区分

施業区分は、主に樹種、蓄積、密度等、その林分構成及び施業上の目的等に着目して分類したものです。

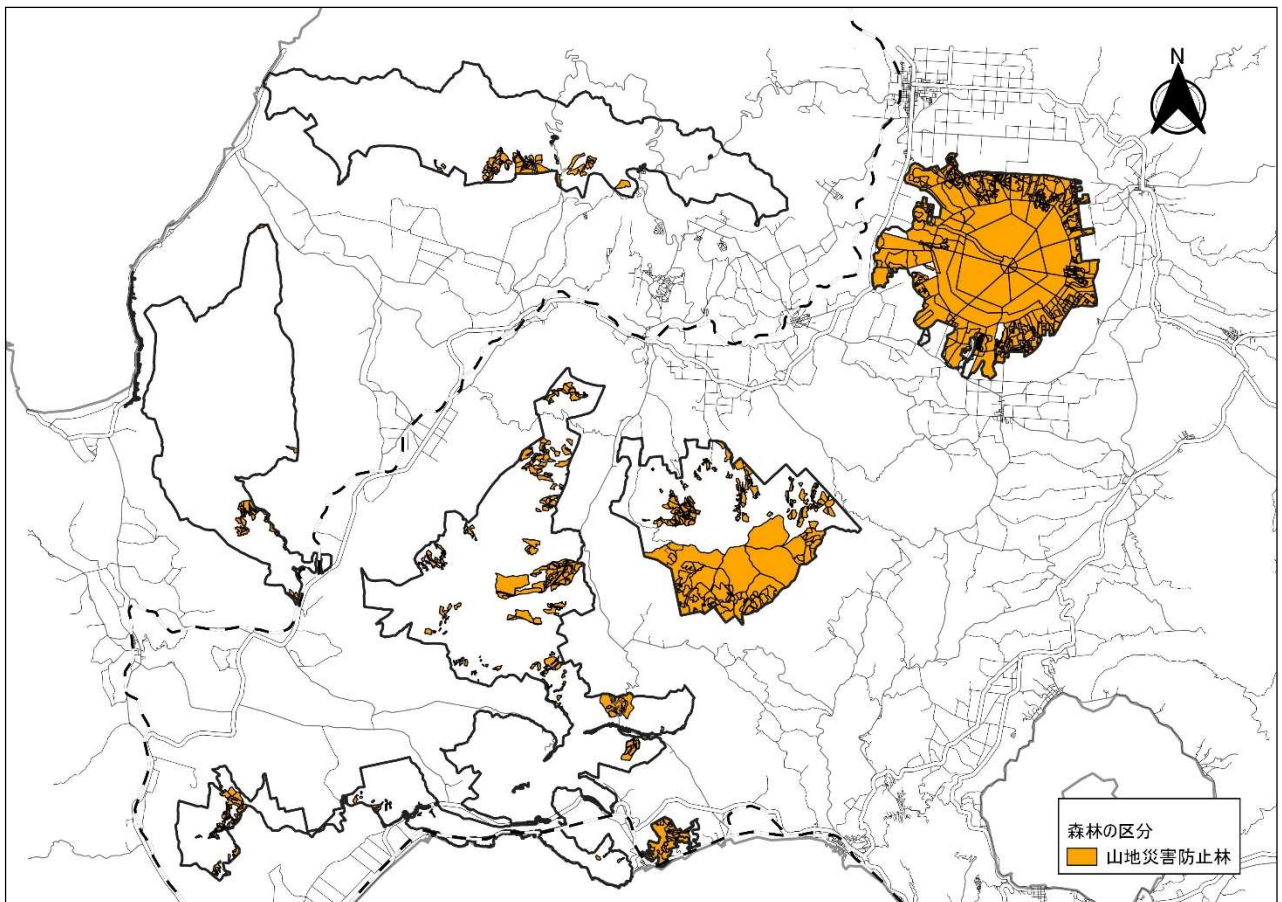
施業区分			内容(編入基準)		
林	一般施業	人工林施業	単層林施業	通常伐期	通常伐期により皆伐-再造林を行う人工林
				長伐期	長伐期により皆伐-再造林を行う人工林
			複層林施業		帯状伐採や択伐と植栽により2段以上の樹冠層を持つよう誘導する人工林
			混交林施業		間伐により植栽木(主に針葉樹)と天然木(主に広葉樹)が適度に混交した状態に誘導する人工林
		保全林		原則として施業を行わない人工林。	
		人工林上木		人工林内に現存する天然木(前生樹、植栽時又は植栽後に発生した天然更新木)	
		保護帯		人工林内の保護、森林生態系の多様性の維持等を目的とし、隣接する人工林と一体として施業することが適当な天然林	
		無立木地		伐採跡地等	
		天然林施業			
		幼齡林	通常	一定の間隔を置きながら施業を実施する幼齡林(幼齡林とは、山火再生林、萌芽林、かき起し施行地等、発生年度がほぼ同一時期で、保育(間伐)が施業の主体となるものをいう)	
	長期		通常よりも長い間隔の設定により、施業を実施する幼齡林		
	その他	当面保存	一定の間隔での施業を避け、当面、資源の回復を図る幼齡林		
		将来有望	資源の内容から今後施業の対象となり得る幼齡林		
		検討中	資源の推移を見ながら今後の施業を判断する必要がある幼齡林		
		保全	原則として施業を行わない幼齡林		
	壯齡林	通常	一定の間隔を置きながら施業を実施する壯齡林(壯齡林とは幼齡林以外)		
		長期	通常よりも長い間隔の設定により、施業を実施する壯齡林		
		その他	当面保存	一定の間隔での施業を避け、当面、資源の回復を図る壯齡林	
			将来有望	資源の内容から今後施業の対象となり得る壯齡林	
			検討中	資源の推移を見ながら今後の施業を判断する必要がある壯齡林	
保全	原則として施業を行わない壯齡林				
地	保全施業	保護林	道有林野保護林設定要領(昭和50年10月27日林二第219号)に基づく保護林		
		更新困難地	自然条件が厳しく、伐採後の更新及び森林の回復がきわめて困難な森林		
		その他(上記以外の保全施業)	上記以外の保全施業を行う必要がある森林		
	特別施業	試験林	施業試験を行っている森林		
		検定林	育種種苗の成長、形質、耐寒性等の検定を行っている森林		
		採種林	母樹林以外の森林で、種子の採取を目的とした森林(林木育種事業により設定された遺伝子保存林を含む)		
		母樹林	有用広葉樹種子採取源整備事業により有用広葉樹の種子採取を目的として指定された森林		
		分収造林	分収造林契約に係る森林		
		分収育林	分収育林契約に係る森林		
		樹木園	地域住民に対する森林・林業の啓発等のため、道有林創設50周年記念事業又は開道100年記念事業により設けた園地		
採種園		育種種子の採取を目的として設けた園地			
その他	露天掘り復旧跡地など				
除地	付帯地	道路敷地(施業道以下は除く)			
	貸付地	鉱業敷地、電線敷地等の貸付地			
	雑地	沢敷地(5m幅以上)、開放見込地			

4 森林の区分図

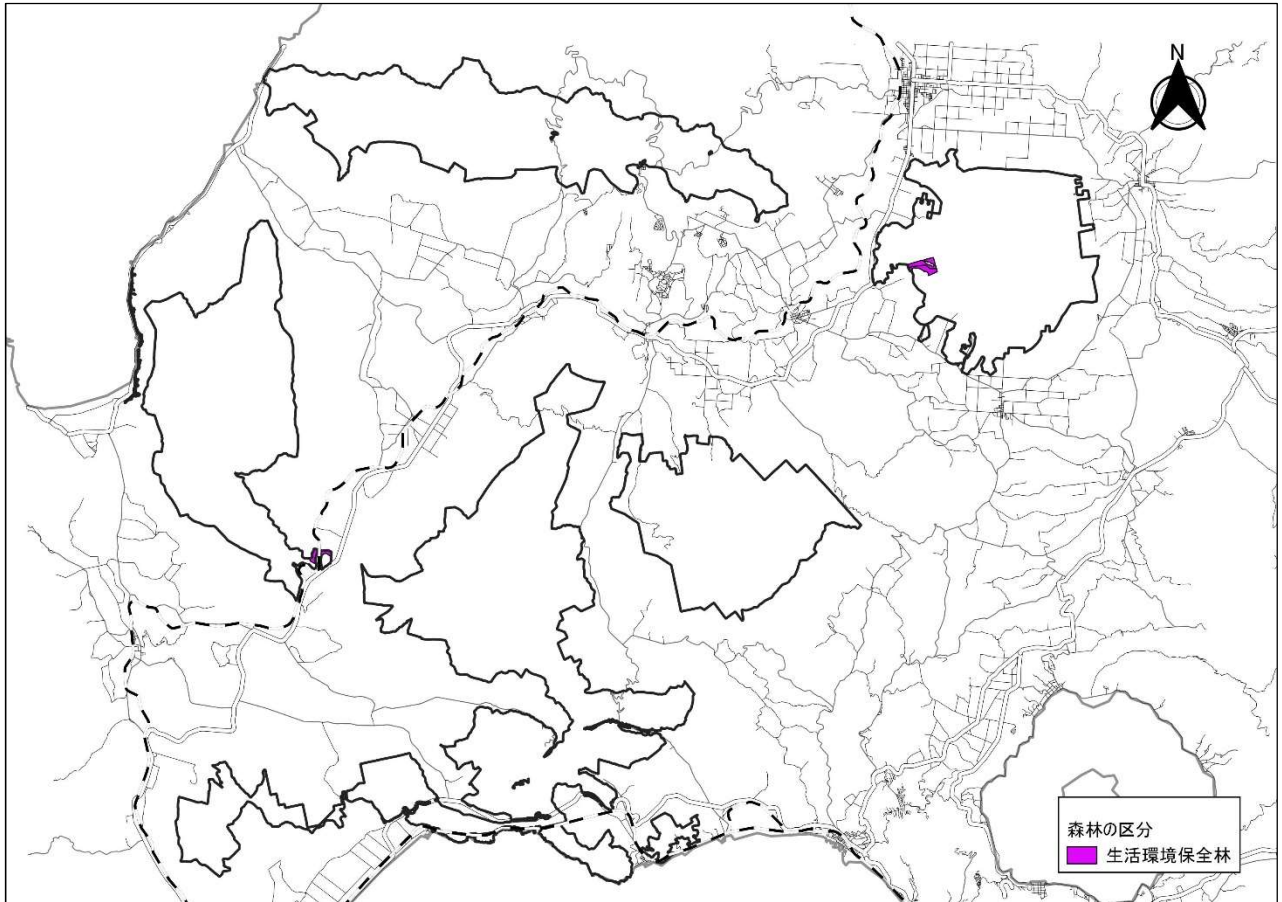
(1) 水源涵養林並びに水資源保全ゾーンの重複区域



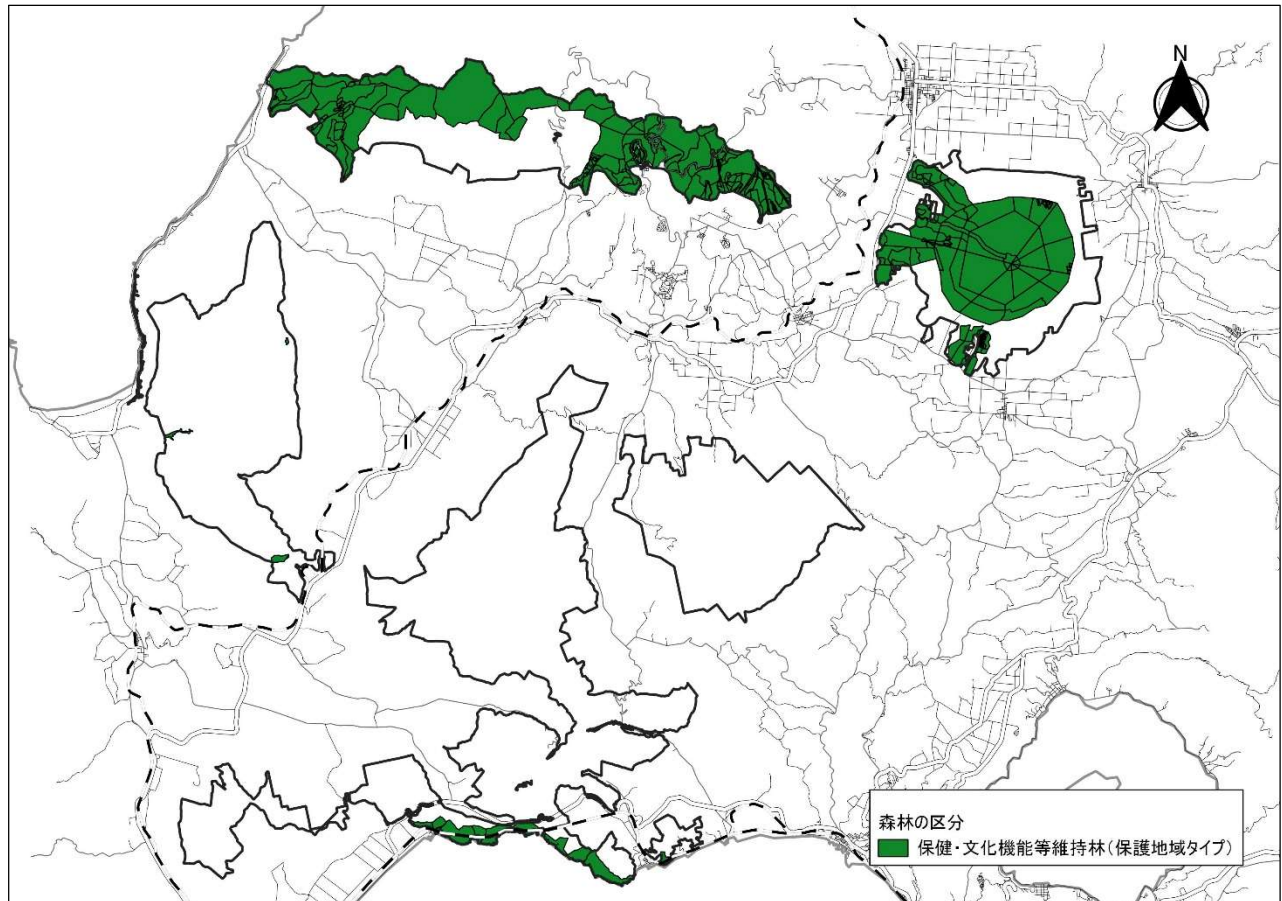
(2) 山地災害防止林の区域



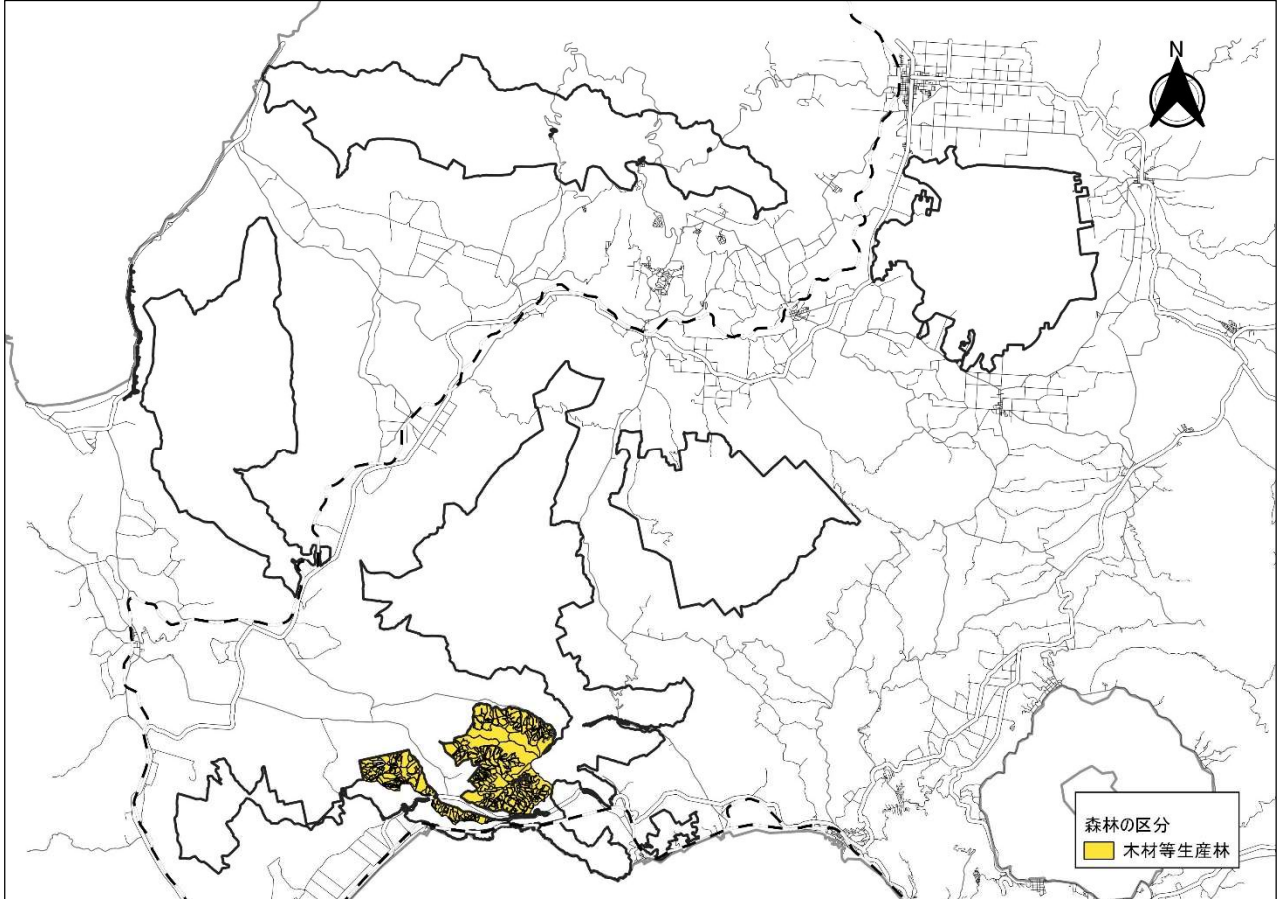
(3) 生活環境保全林



(4) 保健・文化機能等維持林の区域

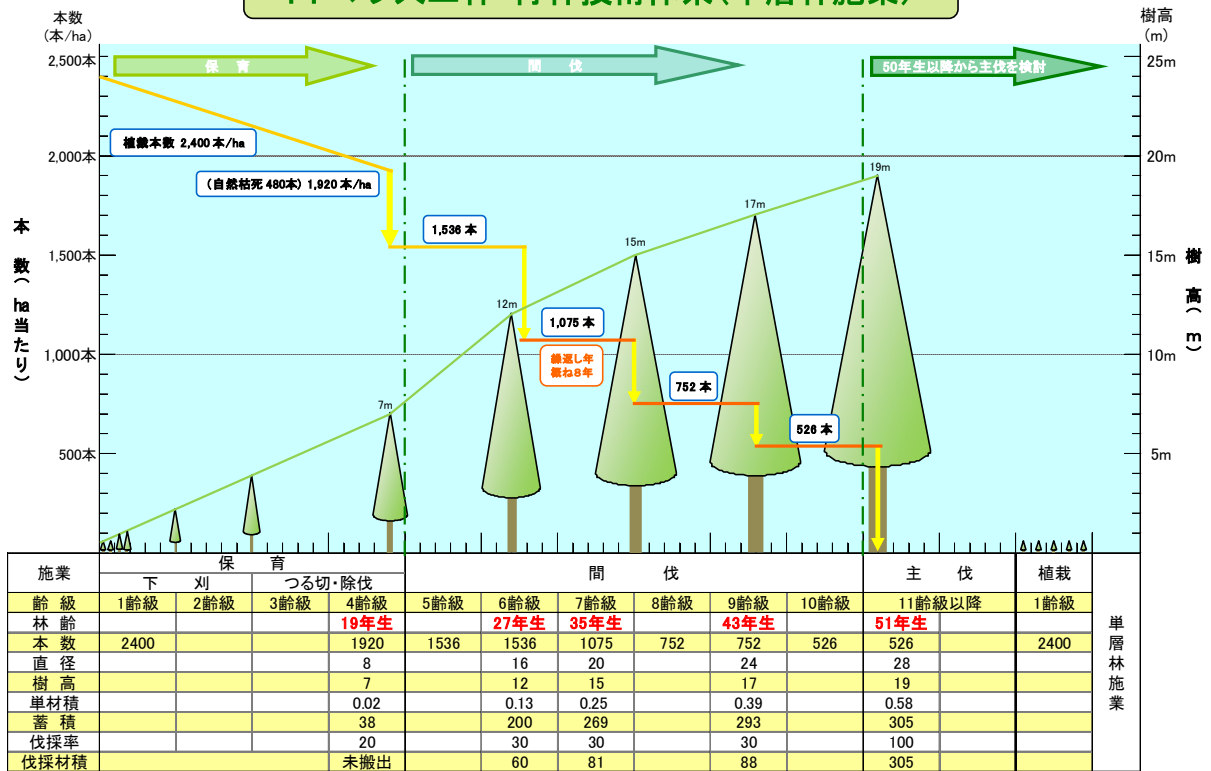


(5) 木材等生産林の区域



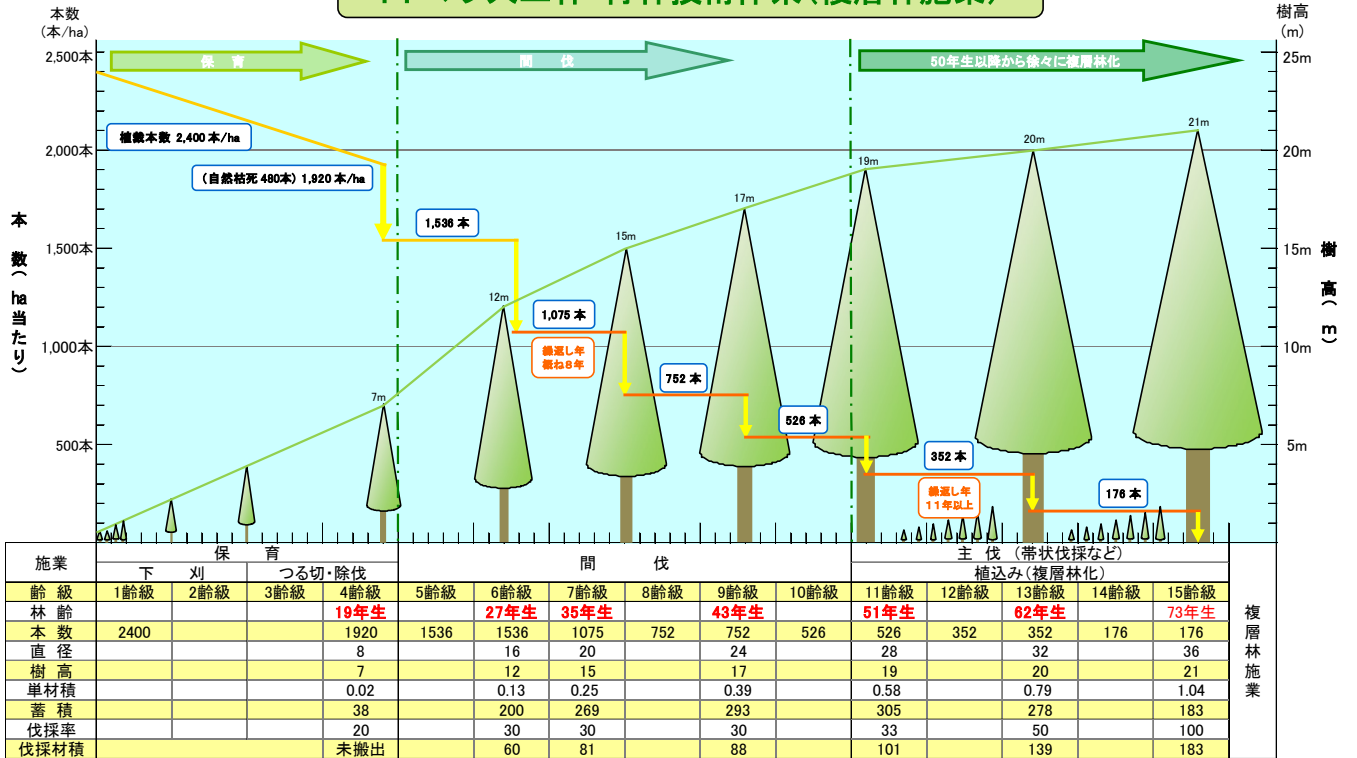
5 人工林育林技術体系図

トドマツ人工林・育林技術体系(単層林施業)



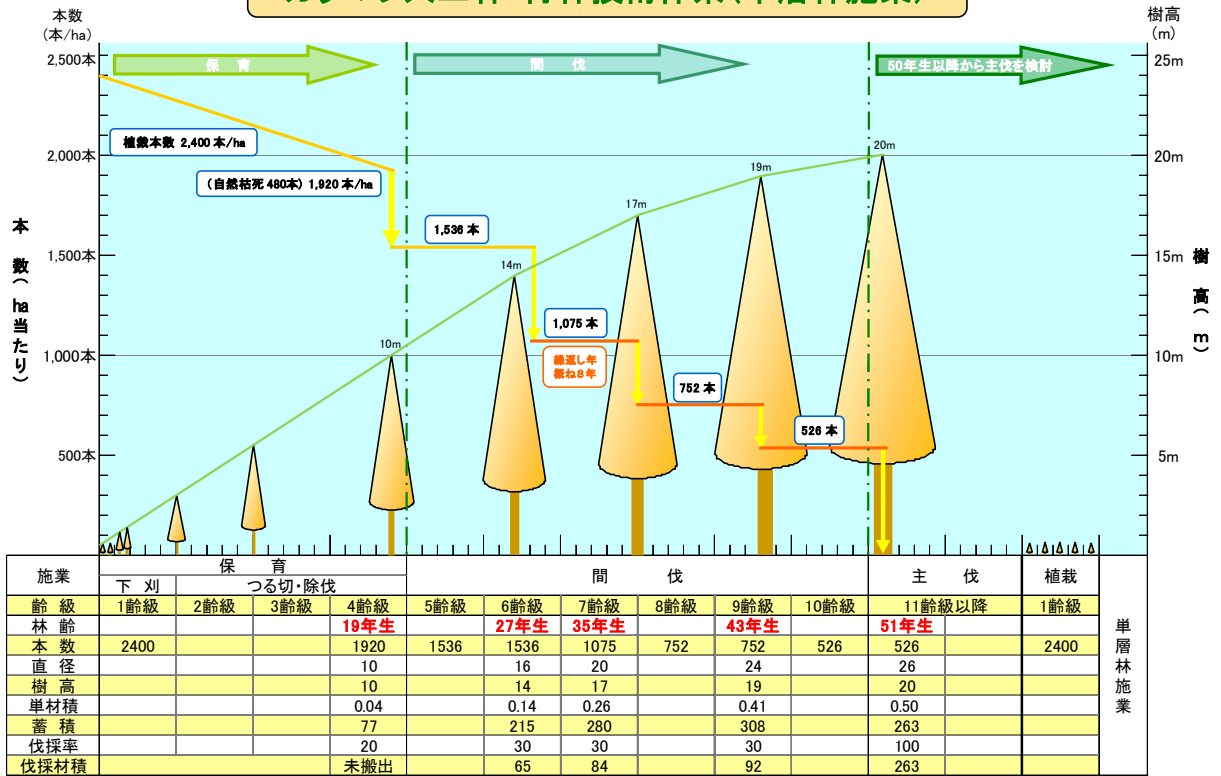
※ 主伐(皆伐)時における1伐採面の大きさは、概ね5ha以内とする。

トドマツ人工林・育林技術体系(複層林施業)



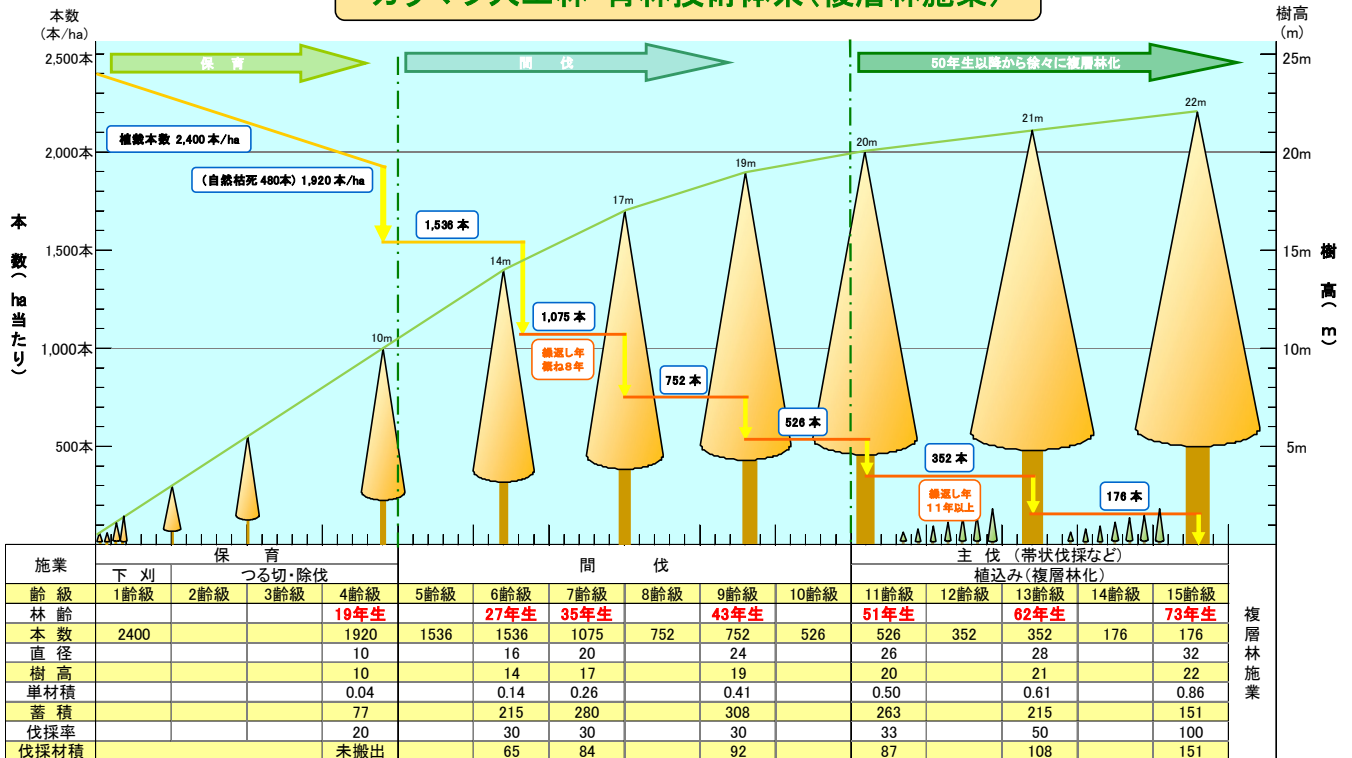
※ 主伐時の伐採方法は帯状伐採または小面積皆伐とする。

カラマツ人工林・育林技術体系(単層林施業)



※ 主伐(皆伐)時における1伐採面の大きさは、概ね5ha以内とする。

カラマツ人工林・育林技術体系(複層林施業)



※ 主伐時の伐採方法は帯状伐採または小面積皆伐とする。

6 主な保全施業林分及び特別施業林分の現況
道有林の整備・管理上、多種多様な森林を目的別、施業方法別に次のとおり分類している。

(1) 保全施業林分

ア 保護林

希少性又は特異性を有している森林を恒久的に保存し、施業の参考とする。

名 称	目 的	林小班	面積 (ha)	蓄 積		設定年
				針葉樹	広葉樹	
羊蹄山麓針広混交保護林	羊蹄山麓における針 広混交優良林分の 保護	3-01 5-01 31-01 32-02 33-01 34-02 43-03 43-04 44-04 45-06	496.37	57,562	99,073	S43 年
白井川ブナ保護林	最北限に近いブナ 群生地への保護	126-07	20.59	—	3,459	S50 年
ブナの北限保護林	最北限の本邦ブナ 生育地の保護	148-04	3.26	—	469	S50 年
アカエゾマツ西限保護林	最西限の本邦アカエ ゾマツ生育地の保護	158-04	19.82	2,220	456	S50 年
金ヶ沢川ブナ保護林	最北限に近いブナ 群生地への保護	135-06	14.65	—	5,904	H21 年

イ 保健利用林

地域住民などの森林レクリエーションの場として供する。

名 称	所在市町村	目的	林小班	面積(ha)	設定年
「設定なし」					

(2) 特別施業林分

ア 試験林

森林施業に資すべき試験を行っている森林。

自然公園特別地域等に設定した場合、それぞれの施業制限を遵守し試験を行う。

名 称	目 的	林小班	面積 (ha)	蓄 積		設定年
				針葉樹	広葉樹	
トドマツ人工林間伐試験	保安林に対する強 度間伐の実証試験	87-59	2.22	690	—	H24 年

イ 検定林

育種種苗の成長、形質、耐寒性等の検定を行っている森林。

林小班	樹 種	面積 (ha)	蓄 積		設定年	備 考
			針葉樹	広葉樹		
39-58	クリーンラーチ グイマツ雑種 F ₁	0.80	17	—	H22 年	後志管理区検定林

ウ 採種林(遺伝子保存林)

種子の採取を目的とした森林で、林業種苗法による指定を受けていない森林(採種林)。

または、林木育種事業を計画的に進めるため、現存する林木の優良遺伝子群を確保、保存するために設定された森林(遺伝子保存林)。

名 称	林小班	面積 (ha)	蓄 積		設定年	備 考
			針葉樹	広葉樹		
「設定なし」						

エ 母樹林

有用広葉樹種子採取源整備事業により有用広葉樹の種子採取を目的として指定された森林。

自然公園特別保護地域等に設定した場合、それぞれの施業制限を遵守し採取を行う。

林小班	樹 種	面積 (ha)	蓄 積		設定年	備 考
			針葉樹	広葉樹		
「設定なし」						

オ 採種園

育種種子の採取を目的として設けた園地。

名 称	林小班	樹種	面積 (ha)	設定年	備 考
ニセコ採種園	39-80	カラマツ	1.45	H25 年	
	39-81	グイマツ	1.17	H26 年	
	39-82		0.78	H27 年	

カ 分収造林

分収造林契約に係わる森林。

保安林に指定された場合には、その施業要件を遵守しながら施業を行う。また、自然公園特別地域等に造成した場合、それぞれの施業制限を遵守し施業を行う。

林小班	樹 種	面積(ha)	蓄積	植栽年月日 設定年月日	契約期間 (自) (至)	分収 割合	備 考
		上段:植栽地 下段:その他	上段:N 下段:L				
「設定なし」							

キ 分収育林

分収育林契約に係わる森林。

保安林に指定された場合には、その施業要件を遵守しながら施業を行う。

林小班	樹 種	面積(ha)	蓄積	植栽年月日 設定年月日	契約期間 (自) (至)	分収 割合	備 考
		上段:植栽地 下段:その他	上段:N 下段:L				
「設定なし」							

ク 樹木園

地域住民に対する森林・林業の啓発等のため、道有林開設 50 周年記念事業により設けた園地。

名 称	目 的	林小班	面積 (ha)	設定年	特 徴
真狩樹木園	地域住民の「憩の森」や「学習参考林」を目的に設定。	31 林班 05.06 小班	33.97	S31 年	羊蹄山麓の原生林の一角を利用し、道内外の樹種を植栽した見本林と天然林から成る。秋に鮮やかな黄色に染まるカツラ並木は有名。

7 管理及び計画の沿革

(1) 管理の沿革

年 度	沿 革 の 概 要
明治 2年	開拓使管理下に置かれる。
明治15年	農商務省直轄となる。
明治19年	北海道庁管下に置かれる。
明治35年	道庁内に林務課設置される。倶知安営林区分署に属し弁辺、静狩の保護区員の担当下になる。
明治39年	模範林として国から譲渡され、倶知安監護員駐在所が設置。
明治40年	地方費倶知安事務所が設置され、倶知安、蘭越、目名、黒松内、弁辺に5監護員駐在所を置き、以後、管内地方費林総面積 46,623 町歩の監護に当たる。
大正11年	公有林として国より譲渡を受け、倶知安地方費森林事務所の管轄となり、拓殖部に地方林課を設け、その直轄となる。(黒松内、南尻別、磯谷事業区)
大正12年	地方費倶知安森林事務所を倶知安森林事務所と改称。
昭和 4年	分区員駐在所の担当区域を改革。(磯谷昆布事業区)
昭和 6年	蘭越分区員駐在所を昆布へ移転。
昭和 7年	弁辺村は豊浦町と改称され、豊浦分区員駐在所となる。 各分区員駐在所を担当区員駐在所と改称。
昭和17年	国有林と林政統一により合併し、倶知安営林区署と改称し、森林計画薪炭課を設ける。
昭和22年	国有林、道有林の分離経営するに至り、森林事務所が復活して林務署と改称されて、管内6力所に駐在所を設置。
昭和24年	駐在所担当区を改革し、蘭越、歌棄両駐在所を増設。
昭和26年	公有林、模範林合併により事業区の一部変更。
昭和32年	第一次道有林林力増強計画が立案され、倶知安林務署管内全事業区に対し、臨時編成案を行う。
昭和36年	長万部町有林 968ha 購入並びに黒松内字白井川道有地 81ha が道有林に移管される。 第二次道有林林力増強計画が立案され、全事業区に対して臨時編成を行う。
昭和37年	管内全事業区を統合し、倶知安経営区と改称。
昭和44年	駐在所を事業所と改称し、倶知安、蘭越、黒松内、豊浦に設置。
昭和63年	黒松内事業所を廃止し、豊浦事業所黒松内作業所を設置。
平成 元年	種苗事業終了に伴い、ニセコ作業所を廃止。
平成 4年	倶知安、蘭越、豊浦事業所を廃止。
平成 6年	倶知安林務署を倶知安道有林管理センターに改称。
平成14年	倶知安道有林管理センターを後志森づくりセンターに改称。
平成22年	後志森づくりセンターを後志総合振興局森林室に改称。

(2) 計画策定の沿革

名 称	設定年度	区域	面積	実行期間		備考
				期間	年数	
第 1 次 編 成 案	明治 40 年	羊蹄山事業区	7,721	明治 41 年～大正 4 年	9	
”	明治 45 年	南尻別 ”	4,588	明治 45 年～大正 13 年	13	
第 1 次 検 訂 案	大正 4 年	羊蹄山 ”	7,721	大正 5 年～大正 10 年	6	
第 2 次 臨 時 検 訂 案	大正 10 年	羊蹄山 ”	7,721	大正 11 年～昭和 4 年	9	
第 1 次 編 成 案	大正 11 年	磯谷 ”	8,081	大正 11 年～昭和 7 年	12	
第 1 次 検 訂 案	大正 13 年	南尻別 ”	4,588	大正 14 年～昭和 7 年	9	
第 1 次 編 成 案	大正 13 年	黒松内 ”	8,520	大正 13 年～昭和 8 年	11	
		昆布 ”	14,703	大正 15 年～昭和 10 年	11	
第 3 次 編 成 案	昭和 4 年	羊蹄山事業区	7,721	昭和 5 年～昭和 16 年	12	
第 1 次 検 訂 案	昭和 7 年	磯谷 ”	8,083	昭和 8 年～昭和 18 年	11	
第 2 次 検 訂 案	昭和 7 年	南尻別 ”	4,614	昭和 8 年～昭和 18 年	11	
第 1 次 検 訂 案	昭和 8 年	黒松内 ”	8,343	昭和 9 年～昭和 26 年	18	
”	昭和 10 年	昆布 ”	14,699	昭和 11 年～昭和 25 年	15	
第 4 次 検 訂 案	昭和 16 年	羊蹄山 ”	7,721	昭和 17 年～昭和 23 年	7	
第 2 次 検 訂 案	昭和 18 年	磯谷 ”	8,083	昭和 19 年～昭和 26 年	8	
第 3 次 検 訂 案	昭和 18 年	南尻別 ”	4,648	昭和 19 年～昭和 26 年	8	
第 5 次 検 訂 案	昭和 23 年	羊蹄山 ”	7,721	昭和 24 年～昭和 28 年	5	
第 2 次 検 訂 案	昭和 25 年	昆布 ”	14,263	昭和 26 年～昭和 30 年	5	
”	昭和 26 年	黒松内 ”	5,583	昭和 27 年～昭和 31 年	5	
第 4 次 検 訂 案	昭和 26 年	南尻別 ”	7,301	昭和 27 年～昭和 31 年	5	
第 3 次 検 訂 案	昭和 26 年	磯谷 ”	8,080	昭和 27 年～昭和 31 年	5	
第 6 次 検 訂 案	昭和 28 年	羊蹄山 ”	6,824	昭和 29 年～昭和 31 年	3	
臨 時 編 成 案	昭和 32 年	羊蹄山、磯谷、昆 布、黒松内事業区	42,049	昭和 32 年～昭和 36 年	5	
臨 時 編 成 案	昭和 36 年	”	43,004	昭和 37 年	1	
第 1 次 経 営 計 画	昭和 37 年	倶知安経営区	43,096	昭 38 年	1	
第 1 次 経 営 計 画 修 正 案	昭和 39 年	”	43,096	昭和 39 年～昭和 41 年	3	
第 1 次 変 更 案	昭和 41 年	”	43,096	昭和 42 年	1	
第 2 次 経 営 計 画	昭和 42 年	”	42,969	昭和 43 年～昭和 47 年	5	
昭 和 4 6 年 経 営 計 画	昭和 45 年	”	42,720	昭和 46 年～昭和 50 年	5	
第 1 次 変 更 計 画	昭和 48 年	”	42,720	昭和 49 年～昭和 50 年	2	
臨 時 編 成 案	昭和 50 年	”	42,717	昭和 51 年	1	
昭 和 5 2 年 経 営 計 画	昭和 51 年	”	42,717	昭和 52 年～昭和 55 年	4	
第 1 次 変 更 計 画	昭和 55 年	”	42,717	昭和 56 年	1	
昭 和 5 7 年 経 営 計 画	昭和 56 年	”	42,793	昭和 57 年～昭和 61 年	5	
昭 和 6 2 年 経 営 計 画	昭和 61 年	”	42,791	昭和 62 年～平成 元年	3	
第 1 次 変 更 計 画	平成 元年	倶知安経営区	42,786	平成 2 年～平成 3 年	2	
平 成 4 年 経 営 計 画	平成 4 年	”	42,784	平成 4 年～平成 7 年	4	
第 1 次 変 更 計 画	平成 7 年	”	42,784	平成 8 年	1	
平 成 9 年 経 営 計 画	平成 8 年	”	42,737.60	平成 9 年	1	
第 1 次 変 更 計 画	平成 10 年	”	42,736.80	平成 10 年～平成 11 年	2	
第 2 次 変 更 計 画	平成 11 年	”	42,735.68	自 平成 12 年	1	
第 3 次 変 更 計 画	平成 12 年	”	42,735.68	自 平成 13 年	1	

名 称	設定年度	区域	面積	実行期間		備考
				期間	年数	
平成14年整備管理計画	平成13年	後志管理区	42,735.68	平成14年～平成16年	3	Ⅱ分期の伐採量の見直し
第1次変更計画	平成17年	〃	42,735.68	平成17年～平成18年	2	
平成19年整備管理計画	平成18年	〃	42,735.68	平成19年～平成24年	6	
平成25年整備管理計画	平成24年	〃	42,735.68	平成25年～平成28年	4	
平成29年整備管理計画	平成29年	〃	42,675.10	平成29年～令和3年	5	
令和4年度整備管理計画	令和3年	〃	42,674.87	令和4年～令和4年9月	0.5	
令和4年第1次変更計画	令和4年			令和4年10月～令和13年	9.5	